



自治体名	浜松市	島田市	藤枝市	焼津市	掛川市	
名称	浜松子ども館	島田市子ども館 プレイルーム「ぼるね」	れんげスマイルホール キッズパーク	ターントクル子ども館 焼津おもちゃ美術館	mirocco(みろっこ) 2025年7月オープン	
運営形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	DBO方式	
区分け	市内・市外区分け無し	市内 市外	市内・市外区分け無し	市内 市外	市内 市外	
料金	就学前児童	無料(保護者同伴)	無料(保護者同伴)	無料 (1歳未満は無料)	400円 (1歳未満は無料)	500円 (1歳未満は無料)
	小学生	100円	100円	100円	400円	500円
	中学生	100円	—	—	200円	400円
	高校生	100円	—	—	200円	400円
	大人	200円	100円 200円	無料	500円 1000円 シニア200円 シニア700円	400円 500円
備考	回数券有	回数券有 2時間ごとの入れ替え制	小3以下は保護者同伴 1時間ごとの入れ替え制	市内の小学生は保護者1名 につき小学生1名無料		
市内1歳以上就学前 児童1名と小学生1名 と大人1名の料金は?	300円	200円	無料	500円	1200円	

室内遊び場の利用料金一律400円は納得できない
たまりーなの室内遊び場が7月オープンするとう発表で期待されてきている方々が多いと思います。

健康増進に一役買っていた室内プールがなくなることは残念ですが、子どもの室内遊び場の整備は待たれていました。昨年の議会で条例の改正が提案され、利用料金が子ども料金なしの市民一律400円(1歳未満は無料)とされました。

子育て支援を大切にしている事
で有名な明石市は、遊び場は親子ともに無料です。掛川でも実現した医療費の他に、中学校の給食費、2子以降の保育料、1歳までのおむつが無料です。明石市の子育て支援の特徴は所得制限がないこと。現役世代が流入し税収も上がり消費も活発化して、市の財政に好循環ができて、最初は圧迫されていた土木費などにもお金が回せるようになっていきます。

人口増は国からの交付税増にもつながります。決して子育て世代のためだけではなく市全体に効果が波及したのが特徴です。所得制限のある政策はどんなに良いものでも市民を分断してしまう危険をはらんでいます。「世代間格差」「所得格差」ではなく、市民みんなが幸せになりますように。たまりーなの室内遊び場の利用料金は市として予算付けをし、市民負担の軽減を強く求めます。

例えば保護者一人で5才と8才の子どもを連れてたまりーなの室内遊び場に行くと、1200円払わないと利用できないということ。近隣市の施設では無料500円で利用可能です。上記の表のようにこんな高い料金設定や子ども一律の施設は近隣市にはなく、お金のあふなしで施設が利用できるなくなる子育て支援はないと議案に反対しました。

他会派の議員はこの料金設定を含む議案に皆さん賛成しました。何でこんな高い料金になるのか。計画段階でDBO方式という方法をとり、民間に整備から運営までを委ね、民間の採算前提に公の場が提供されたからです。共産党議員団は子育て支援を採算をとることに前提で民間に任せるやり方に反対してきました。

借金漬けの大軍拡

来年度軍事費8.7兆円のうちの7148億円が「建設国債」という借金で賄われます。

これまで戦前の反省に立ち、軍事費には後々返さなくてはいけなくなる借金(国債)は使わなかったのを、岸田政権が軍事費2倍化予算をアメリカの要求に沿って実現させるために、閣議決定で軍事ローンもOKにしました。

2基で8648億円もするイージス艦に対し、義務教育学校給食食材費は全部で4832億円。軍事費を削れば無償化は実現できます。国民生活のために税金を使おう!



イメージ図=防衛省資料から



部屋で育てた
ヒヤシンス
素敵な香り

